

のびやかに



富士市立富士第一小学校

4年部

令和4年2月28日

いよいよ4年生最後の月となりました。学校ではこれまでの振り返りをしっかり行い、5年生になるための準備をしていきます。御家庭でも子どもたちの成長を見守りつつ、励ましの声掛けをお願いします。残りわずかですが、笑顔で充実した毎日を過ごせるように、御協力をお願いします。

3月の行事予定は、学校だより「かじま」を御確認ください。4年生だけの行事はありません。修了式は、3月18日(金)です。

6年生ありがとうの会に向けて頑張っています！

お知らせ

- ◆3月は、校納金の集金はありません。
- ◆新型コロナウイルス感染拡大による蔓延防止措置の延長や「6年生修学旅行」が控えているため、3月6日(月)の懇談会は中止となりました。
- ◆購買窓口最終日は3月8日(火)です。封筒注文も3月8日締め切りです。



4年生の子どもたちの成長～1年を振り返って～

【中学年ごろの子どもたちの成長とは】

小学校中学年というのは、他者を見る視野は広がっていき、大人(教師や保護者)と心理的な距離を持ち始め、子ども同士でつながり始めるといわれております。大人から提示されたルールではなく、子ども同士で決めたルールに従って集団生活を行うようになり、他者から律せられる時期から自分または自分たちで律する時期へと育ち始めるのです。このように自律へと向かっていく時期にある子どもたちは、この一年でたくさんの成長が見られました。参照：「非認知能力が子どもを伸ばす」著者・中山芳一より

【学習面の育ち】

学習面では、「自分は、どう考えるか」を表現する力が高まってきました。国語では、文章構成を考えて自分の思いを作文に書けるようになってきました。社会では、事例を調べるだけでなく、事例からどういことが考えられるかを、ロイロノートでプレゼンできるようになってきています。算数では、いろいろな考えを比べて、よりよい考えを検討することができるようになってきたり、理科では、予想と結果をもとに自分の考えを考察で書けるようになってきたりしました。また、今年は、特にGIGAタブレットが本格的に導入され、子どもたちも教師も最初は手探りでした。しかし、総合ではパワーポイントやワードを使ったり、ロイロノートを使って発表を行ったりして、情報活用能力が高まってきたと思います。

【生活面の育ち】

生活面では、「高学年になるんだ!」という自覚が高まり、キラリバッチを腕に輝かせながら、毎日張り切っています。今は、6年生ありがとうの会に向けて、全員が同じ気持ちでよく取り組んでいます。低学年の頃と違って、教師の手を少しずつ離れ、自分たちで相談したり練習したりと、試行錯誤しながら取り組む姿はとても成長を感じる場面です。時に生活の中で、「それは意地悪ではないの?いじめになりそう?!だな」と感じると、「よくないぞ!」と声を上げる人もいて、自分たちで自分たちの学校・学級を守ろう、お互いに過ごしやすい学校にしようとする力が高まり、頼もしく感じました。

学習面でも生活面でも、このようにたくさんの場面で、子どもたちの頑張りが成長が見られました。高学年になると、思春期を迎え始め、考える世界もさらに深まっていくことでしょう。この学年の子どもたちの純粋なところや、自発的に色んなアイデアを出せる「良さ」を生かしていきながら、5年生でのさらなる活躍を応援しています。